

令和元年度

第2回草津市情報化推進計画策定委員会 会議録

■日時：

令和元年9月26日（木）14時00分～14時50分

■場所：

市役所 401会議室

■出席委員：

西原委員、萩原委員、宇野委員、小郷原委員、小野委員、櫻井委員、中西委員、山本委員

■欠席委員：

なし

■事務局：

岡野部長、金森副部長、今江課長、奥村参事、本射

■傍聴者：

4名

1. 開会

- ・岡野部長あいさつ
- ・委員数8名全員の出席を確認。審議会が成立していることを確認。

2. 議事

- (1) 第1回草津市情報化推進計画策定委員会会議録について

【事務局】

<資料1について説明>

【委員長】

委員の発言について、匿名で記載されているが、慣例的にそうなっているものなのか？

【事務局】

他の委員会等を確認させていただき、回答する。

(2) 草津市情報化推進計画（素案）について

【事務局】

<資料 2 について説明>

【委員】

草津市の人口に対してマイナンバーカードの取得されている方はどのぐらいなのか？

【事務局】

去年のデータになるが、草津市の人口に対する率は平成 30 年 7 月 1 日現在で 14.9%、全国平均は 11.5%、滋賀県平均は 11.2%となる

【委員】

全国的に見てもまだ普及率は低い。なぜ進まないのか。

【事務局】

利便性がしっかり図れていないことが考えられる。マイナンバーカードを取得しても草津でできることはコンビニエンスストアで住民票等の証明書関係の取得に限られる。

【委員】

国や県の動向についてはよくわかる。最後にある市民意識調査に基づいてニーズ把握をされて、今後の施策を決めていくことについて、民間が新しいサービスを提供しようとするとき本当に必要なものをほしいと言ってもらえるかというところについてはほとんどなく、本当に大事なものはニーズが顕在化していない。それを先回りして提供することが大事。今困っていることに対して応えていく事が行政として大切なことではあると思うが、それ以外でも優先度が高いものがあるかもしれないので、こういった市民意識調査に偏って評価をすると本当に新しいものが出てこないのではという危惧がある。そういったところは有識者会議を組織したり、外部のコンサルを入れるといったことをしていかないと難しいのではないかという印象がある。

【事務局】

その部分について、この情報化推進計画の策定において、総務省の地域情報化アドバイザー制度を利用し、指導・助言をいただいている。今後、計画の詳しい内容についても地域情報化アドバイザーの方の意見も伺いながら、計画をまとめていきたいと考

えている。そういった視点も併せて盛り込んだ中で計画の策定をしていきたい。

【副委員長】

Society 5.0に実現に向けてということで、政府に対して要望を行っている。それに関連するような形で5Gのインフラ整備もこれから始まることから、少し先を見据えたことも含めて、ある程度見通しも含めた考え方を記載してもいいのではないか。

【事務局】

Society 5.0という、人とモノがデジタル社会の中で溶け込むような新しい社会に向けた取組みについても、計画の中で、国の動向の中で盛り込んでいきたいと考えているので検討をしていきたい。

3. その他

【事務局】

- ・次回、第3回草津市情報化推進計画策定委員会の日程について、11月上旬に開催予定であるが、現在日程調整中であること伝える。

4. 閉会

以上。